

夏本番、水遊び、プール、お泊り保育で夏を満喫しています。

夏本番になりましたね。子どもたちは毎日プールや水遊びを思い切り楽しんでいます。幼児クラス園庭では毎日プールの中で歓声を上げている子どもたちの声が響き渡っています。2階の園庭では、生まれてはじめての水あそびを楽しむりす・うさぎさんたち。かめ・かばの前のプールでは、かめ～ぱんだまでの子どもたちがたっぷり水遊びを楽しんでいます。

先日、幼児クラスの子もたちは「お泊り保育」を経験しました。今年はいくま組さんも一緒にお昼はお楽しみ会にも参加し、夕食作りもしました。

夕食作りでは、子どもたちが、焼きそばの材料のキャベツやニンジン、ベーコンを真剣な眼差しで切っている姿が印象的でした。もちろん、自分たちで作った「焼きそば」をお腹いっぱい食べた子どもたちでした。

夕刻からはきりん・ぞうさんたちの時間。“どんぐりのゆい”に入ってサッパリした後は、ムッシュコニタンの手品を楽しみ、夜の探検へと続きます。探検に行くのがちょっと怖くなってしまったきりんぐみさんをぞうぐみの子どもたちがリードして暗くなった宇宙線ドームに続く林の道を通って宝を探しに出かけます。

こわごわ出かけた子どもたちですが、宝を発見するや否や「あったよ～！」と叫びながら庭で待つみんなのところに駆け戻ってくる子どもたちでした。

きりん組さんはここでお父さんやお母さんと一緒にお家に帰り、ぞう組さんは友だちと一緒に保育園でお泊りを経験しました。

朝食は“ブンブンおにぎり”と味噌汁。おにぎり用に炊いたご飯は10合炊きの炊飯器にご飯がいっぱいに。ほとんど残るだろうと思っていたご飯ですが、子どもたちはつぎつぎとおにぎりを作ってモリモリ食べ、ご飯はほとんど残りませんでした。

「探検楽しかった～!」「もう一回やりたいな～」の子どもたち。ワクワクドキドキのお泊りを友だちと一緒に経験し、自信と誇りを育んだぞうぐみさんたちです。



絵本「だれのこどももころさせない」

(西郷南海子：作、浜田桂子：絵)

子どもを産み育て、子どもの命を守りたいと願うお母さんのまっすぐな気持ちが伝わってくる絵本です。

絵を描いた浜田さんは、シリアやパレスチナの子どもたち、原爆下の子どもたち、沖縄戦を経験し平和を願うおばあをイメージして描かれたそうです。

巻末の作者のメッセージは是非多くの人に読んでもらいたいです。

あいち保育共同連合会名古屋市懇談が8月23日（水）にあります

子どもたちの健やかな発達を保障し、保護者が安心して働き生活できるよう、そして職員の処遇改善がされることを目的に名古屋市保育企画室との話し合いを持ちます。

ここは、父母の様々な保育要求を名古屋市に伝え、産休明け乳児保育や延長保育・障害児保育など多様な保育要求を実現してきた歴史を持っています。子どもたちの育つ環境を守る運営費補給金の制度を守る訴えも重点要求に掲げています。

名古屋市の人に保護者の方の生の声を伝え、みんなの切実な願いが市政に反映できるよう、ぜひ、多くの皆さんの参加をお願いします。